

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園等の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ① 日本の国立公園のブランドイメージを確立し、インバウンドの誘客を促進
- ② インバウンド対策を通じ、外国人とともに日本人も国立公園や国民公園の魅力を満喫できるようにする
- ③ 利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし消費単価や満足度の向上するための施策を実施し、地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全への再投資を促進

2. 事業内容

*：国際観光旅客税を活用した事業

平成28年3月に政府（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、**2020年に国立公園訪日外国人利用者数を年間1000万人**とする目標を掲げている。**2018年の当該利用者数は約694万人**となり、**利用者数の更なる増加と受入環境整備の強化、満足度の向上**に向け、国立公園を磨きあげる以下の取組を実施する。合わせて、国民公園の魅力向上を図る。

- ・滞環境の上質化*：利用拠点の滞環境の上質化、多言語解説の整備・充実
- ・魅力あるコンテンツづくり*：アクティビティ等と組み合わせたグラブリング、国立公園ならではの「食」やナイトタイムを生かしたツアー等の造成、野生動物観光の促進。ビジターセンターのアウトドア対応機能強化とデジタル技術を活用した展示促進
- ・基盤的な利用施設の整備／長寿命化：登山道の再整備、キャンプ場リニューアル等
- ・受入環境の整備：ガイド等の人材育成、利用者負担による保全の仕組みづくり等
- ・海外への情報発信：旅行博等への出展、JNTOとの連携によるプロモーション強化*等
- ・新宿御苑や京都御苑の魅力向上*：歴史的遺構の整備や体験型コンテンツの造成等

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業／補助事業／交付金
- 請負先 民間事業者・団体／都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

4. 事業イメージ



廃屋撤去跡地の新たな民間事業導入、景観整備



(イメージ) デジタル展示
デジタル技術の活用



グラブリングや「食」、文化・歴史等の国立公園の資源活用によるコンテンツづくり



Uni-voiceコードによる多言語解説



アドベンチャートラベル層に向けた
キャンペーン展開（JNTOとの連携）



新宿御苑におけるバック
ヤードツアーの造成